

みんなのひと

相模台

第 115 号

発行日 令和6年7月15日
 発行相模台地区
 社会福祉協議会
 南区相模台1丁目13番5号
 相模台まちづくりセンター内
 ☎042-705-1422

地区人口 44,977人
 世帯数 23,396世帯 (R6.5.1現在)
 市の人口総数 724,222人



みその生活支援クリニック 小野沢 滋 先生

令和5年度 福祉講座
人生100年時代「自分の希望する最期を迎えるには」
 令和6年2月16日(金)、相模台地区社会福祉協議会主催の福祉講座を開催しました。参加者は120名。みその生活支援クリニック院長の小野沢先生を講師にお招きし、自分の希望する最期を迎えるために知っておきたいことについて、講演していただきました。当日は会場が満員の状態で、小野沢先生のお話を楽しみに参加したという声がたくさん聞かれました。講座の内容をご紹介します。

この考えたことを子供たちや信頼できる人に伝え、子供には頼らない決意が重要です。そして要介護状態にならないためには、運動

- ・自分が動けなくなった時にどこで生活するのか
- ・人工栄養をしたいのかどうか
- ・検査や治療をどこまでするのか

脳血管障害、パーキンソン病、認知症、慢性疾患など要介護の期間が10年以上に及ぶこともあります。また男性より女性の方が長患いになる人が多い傾向にあります。このことから、男性75歳、女性80歳になったら、年一回はこれからの自分の人生について考えましょう。考えるべきことは

相模原市の高齢者人口や救急需病床数のお話でした。国は病院のベッド数を増やさない方針のため、高齢者人口が増えれば、救急入院ベッドが不足してしまいます。入院したくてもできない状況がこれからますます発生します。

健康寿命は男性72歳、女性75歳です。男女ともにこの年齢を過ぎると何らかの健康障害が起こる可能性があります。



会場の様子 大勢の人がお越しくださいました。

することが唯一の予防方法で、なるべく歩くことが大事であるとお話しされました。講演を聞いて、自分の希望する最期を迎えるには、今の自分と向き合い、子どもたちに頼ることなく、しっかりと準備しておくことが必要だと気づかされました。小野沢先生は地域で訪問診療をされており、在宅で最期まで過ごすことのサポートをされています。癌やその他の病気になっても訪問看護や訪問介護の介護保険サービスを利用しながら自宅で最期まで過ごすこともできます。そんな時には、地域包括支援センターやケアマネジャーに相談しましょう。

(総務・企画部会 杉山 育子)

活動に参加した方の声

「人生100年時代～自分の希望する最期を迎えるには～」

- ・今後何を考えて行けばよいのか具体的にイメージすることができた
- ・死を前向きに考えることは高齢化社会にとっても大切なことだと思います
- ・データに基づいた超高齢化社会のお話を伺ってより現実的に捉えることができました
- ・地元こんな理解の深い医師がいるとは知りませんでした



「補助犬ってなあに?～見て、知って、学ぼう～」

- ・補助犬の役割や出会った時にやってはいけないことなど勉強になりました
- ・3頭の違う補助犬に会えて、それぞれ役割をじっさいみて勉強になった
- ・盲導犬の適正は親の代から決まるとの話、必ず聴導犬は聴導犬から育てる話を伺って驚きました
- ・ユーザーとの絆、人間同士も大事にしたいです
- ・盲導犬などをつれている人がいたら、ちょっとでもお手伝いしたいと思いました



「サロン協力者研修会・情報交換会」

三角巾の使い方も学びました

- ・高齢者のよくある症状が分かりました。
- ・ちょっとした変化に気づいてあげたい。
- ・色々なサロンの話を聞いて良かった。

- ・体調のことで声かけしたい。
- ・何をするか迷っていたので助かった。
- ・資料等を配ってくれて良かった。

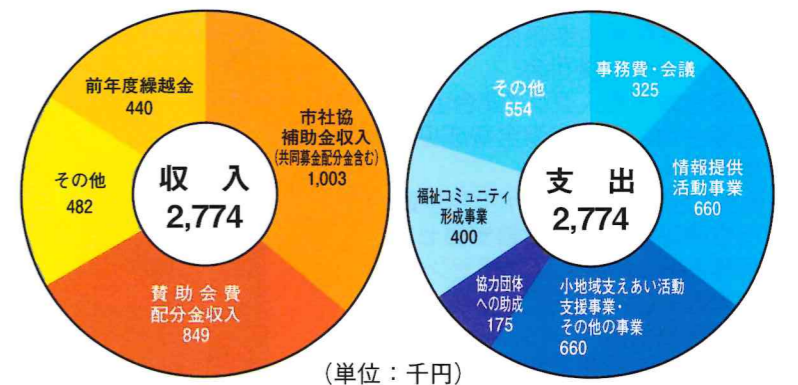


イベントは自治会の掲示板・回覧で知っている方が多数。ご協力ありがとうございます。

会費・募金募集へご協力頂きありがとうございます

赤い羽根募金、年末助け合い募金等の募金活動と、赤十字会員増強運動、市社協賛助会員の募集活動は、自治会を通して行い、地区社協の取組の活動財源となっています。また、街頭募金、校内募金等も募金活動の大きな力になっています。ご理解・ご協力をお願いいたします。皆様から頂いた会費・募金は、地域の福祉活動に大切にに使わせていただいています。

令和6年度相模台地区社会福祉協議会収支予算



令和6年度 相模台地区社協の取り組み



重点目標：誰もが安全・安心して暮らせる地域づくりの推進

- ①ボランティアの育成と活動の活性化
- ②いきいきサロン・子育てサロンの推進
- ③児童・障がい者に関する福祉啓発活動の推進
- ④「サポートセンター楽らく」（福祉コミュニティ形成事業）の運営・推進
- ⑤高齢者の介護予防・生きがいと健康づくりの推進

総務企画部会の事業

◆調査、事業の企画・立案

◆理事研修会



◆広報紙の発行

「みんないいひと相模台」を年2回発行し、地区社協の取り組みをご紹介します。



会議

◆福祉講座

身近な福祉をテーマにした講座を開催します。

◆第25回福祉まつり

10月19日（土）に開催予定です。介護・健康の相談、地域作業所の手作り作品の展示・販売等を通じた福祉啓発に取り組みます。

高齢者福祉部会の事業

◆いきいきサロンへの支援

地区内14か所で開催されているいきいきサロンの活動の支援等を通じて、高齢者の方の憩いの場づくりに努めます。



サロン協力者の研修会

◆ひとり暮らし高齢者お手紙訪問

75歳以上のひとり暮らしの方（希望者）に、季節に合った手書きの挨拶状をお持ちいたします。

◆ラジオ体操

毎週火曜日午前8時から、相模台公園で実施しています。



◆福祉施設等の見学・研修

児童・障がい者部会の事業

◆講演会、映画会



講演会

◆福祉施設等の見学・研修

◆子育てサロンへの支援

子育てサロン「わくわく南台」の活動の支援等に努め、子育て中の親子の仲間づくりに努めます。

◆子育て情報紙「びよびよ」

子育てにまつわる情報を年2回お届けします。



びよびよ NO32号

◆相模台地区社協 構成団体◆

- ・相模台地区自治会連合会
- ・相模台地区民生委員児童委員協議会
- ・相模台地区保護司会
- ・相模台地区老人クラブ連合会
- ・相模台地区青少年健全育成協議会
- ・相和婦人会
- ・市食生活改善推進団体わかかな会相模台支部
- ・市立南障害者地域活動支援センター
- ・相模台第1地域包括支援センター
- ・相模台第2地域包括支援センター
- ・相模台公民館
- ・相模台商店街連合会



相模台地区社会福祉協議会



新年度を迎えて

相模台地区社会福祉協議会

会長 中村 明



定期総会が5月30日（木）、会員の皆様のご理解・ご協力を賜り無事に終了したことをご報告申し上げます。総会資料にも記載していますが、相模台地区社協の重点目標として、「誰もが安全・安心して暮らせる地域づくりの推進」で5つの施策を重点的に進めて行きます。「サポートセンター楽らく」は毎週月・水・金の週3回開所をして「地域の困りごと相談」や「地域住民の憩いの場、ふれあいの場」として活動をしております。今年度はより多くのサポートをしていくために、2カ所目の「サポートセンター楽らく」の開所に向けて準備を進めて行きます。

多くの皆様の参加をお願い申し上げます。令和9年、3年後には、相模台地区社会福祉協議会が発足して70年になります。70周年記念事業計画を来年度より進めて行きます。昭和32年相模台地区社会福祉協議会が発足して今日まで様々な福祉活動をして参りました。70周年の思いを込めて事業計画をしていきます。本年も地域の福祉事業に全力を尽くしていきますので、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

福祉まつりの様子



- 出席者数総議決件数106件
- 出席者26名、議決権委任者56名
- 合計82名をもって総会成立
- 一号議案 令和5年度事業報告
- 二号議案 令和5年度収支決算報告
- 三号議案 福祉基金管理運用報告、備品目録
- 四号議案 会計監査報告
- 五号議案 令和5年度社会福祉活動推進功労者受賞報告及び相模台地区社協感謝状贈呈
- 六号議案 令和6年度役員・理事の報告
- 七号議案 令和6年度事業計画
- 八号議案 令和6年度収支予算



表彰：三光ホーム(株)

令和6年度相模台地区社会福祉協議会定期総会を開催されました。日時：令和5年5月30日（木）会場：相模台公民館大会議室 総会案件審議にあたり、8件の議案について慎重に審議されました。各議案とも提案通り満場一致をもって可決承認されました。今年度も多額の寄付をいただいた「三光ホーム(株)」様に感謝状を贈呈いたしました。



定期総会

令和6年度 相模台地区社会福祉協議会役員

- 会長 中村 明 (自治連)
- 副会長 戸部 恵美子 (民児協)
- 〃 栢 田 貞 明 (自治連)
- 〃 前 田 誠 一 (自治連)
- 会計 江 口 洋 子 (民児協)
- 監事 星 野 睦 子 (民児協)
- 〃 有 村 晴 信 (老 連)

相模台地区社会福祉協議会の活動についてのお問い合わせは、事務局（相模台まちづくりセンター内）042-705-1422まで。